

おじゃまします

※支援センターの登録団体取材して、活動を紹介します。

=絆を深めて=

たすけあいネットワークフレンズ

たすけあいネットワークフレンズは平成12年、高齢者や障害者も含めた全ての人のごく普通に安心して生活できるように、地域のやさしい風になり、支え合える地域づくりを目指して設立しました。今年20周年を迎えます。

20年の間、どうすれば支え合えることができるかをみんなと考えながら、いろいろな事業に取り組んできました。福祉施設での「喫茶 花だより」、ふれあいサロン「風楽っと」、まちなかながらウォーキング、「のら市」やクリスマス会、きずなの会、日々の声掛けなど新しい取り組みで多くの人を巻き込む活動です。その時々が必要とされる活動を行っていましたが、会員の高齢化などでやめた活動もあります。

今回は、12月14日(土)「きずなの会」におじゃましました。平成20年から「夢を語る会」として常設の居場所を作る夢の実現に向けて情報を持ち寄っていましたが、東日本大震災後、平成23年から会員の絆を強める内容に変更し名前も「きずなの会」として継続しています。「きずなの会」ではまず入院、病気の人など会員の情報をお伝えして、昼食のお弁当をみんなで楽しみながらいただきます。「きずなの会」の先月の報告、誕生会、来月のふれあいサロン「ふらっと」の予定などをお知らせします。段々楽しい雰囲気になってきます。脳トレ川柳やしりとりなど皆の声もだんだん大きくなってきます。1人ではこんな大きな声は出さないだろうな。笑いの渦が広がっていきます。広報さかえの読み聞かせも行っています。小さな字で読めないという声に対応したもので担当の人が丁寧に伝えています。とても面白く役に立つやり方です。いろいろな内容に役割があって担当の人は楽しそうに進めています。今月は救急時の対応で高齢者にとって役に立つ話し合いが一番心に残りました。20年という長い年月の積み重ねがあり、その時々ニーズに合わせて多くの仲間と意見を出し合いながら進めてきたことが今につながり、この安心感のあるふんわりとした雰囲気をかもし出しているのかなと思いました。ゆっくりとステップアップ!

たすけあいネットワークフレンズへのお問合せは宇多さんまで 090-1215-0787



「手と手をつなぐ」ロゴマーク

ちば県民活動 PR 月間 2019 賛同行事

「NPO・ボランティアフェアさかえ 2019」開催

12月1日(日)から21日(土)まで住民活動支援センター内でNPO・ボランティアフェアさかえを開催しました。この事業は広くNPOやボランティア活動を知ってもらうために県内各所で行われています。栄町は活動団体を紹介しながらクイズ形式のアンケートを行いました。今年は栄町で行われているごみの分別や福祉に関し、知ってほしい内容にしました。参加した方は106名、年代は60、70才代が8割、男性が約3割でした。フェアを始めた9年前に比べ70才代の方が中心になり男性の参加が増えていくことがわかりました。生活に関する町の取り組みの認知度も増えているようです。これからは町の取り組みも参考にし、若い世代の人たちにも興味を持って参加してもらえそうな活動が必要ではないかと感じました。

